



飯能ロータリークラブ会報



唐竹晩秋 Karatake in late autumn

© photo by Isao Yoshida

“人類に奉仕するロータリー”

RI会長 ジョン・ジャーム

2570地区ガバナー 前嶋修身

第3グループ
ガバナー補佐 野本俊光

「知恵と元気を」

第2728例会 2016. 11. 30

——ロータリー財団月間——

天候 晴 (NO. 53-22)

会長 小川晃男 幹事 矢島高明

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 増島君、間邊君

例会場: ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662

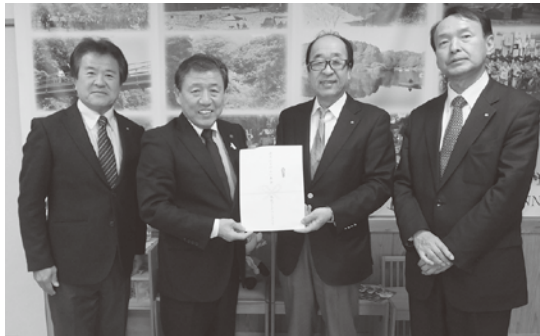
http://www.hanno-rc.org/

E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 小川会長
- ・ソング 我等の生業
- ・ビジター (川越) 入江成男様 関根秀明様
藤井 潔様
- ・卓話 岩堀弘明様

【会長報告】

11/20 島田副会長と安藤会員をお見舞い。今は自宅療養中ですが、せいが切れる等あり年内は欠席との事。28(月)歳末たすけあい募金を幹事、土屋(良)社奉委員長と、市長にお渡し。満州事変の関係で1933年、日本は国際連盟脱退。日本の軍部、官憲からRCは白い目で見られるようになる。1935年、P・ハリスが(フィリピン)の太平洋会議に出席する途中で来日。横浜に着いて東京・帝国ホテルで歓迎会。植樹した月桂樹を株分けした子や孫は日本中にあるとの事。同年、(満州、韓国を含む)地区大会で「奉仕の理想」「我等の生業」日本語ソング発表。官憲からRCを守る観点で、RIの集中管理から少し離れ「日満ロータリークラブ連合会」を創ろうとの気運も出たが受け入れられず。翌年、二・二六事件。ドイツの42のクラブも全て解散。この年から日本のRCで国旗掲揚、国歌



斉唱始まる。有名な「大連宣言」が神戸開催の地区大会で発表、RI精神が極めて格調高い日本語訳に。「第1. 須らく事業の人たるに先立ちて道義の人たるべし。蓋し事業の経営に全力を傾倒するは因って世を益せんがためなり。ゆえに吾人は道義を無視していわゆる事業の成功を獲んとする者に与せず。第2. 成否を曰うに先立ち退いて義務を尽さむことを思い進んで奉仕を完うせんことを念う。自らを利するに先立ちて他を益せむことを願う。最も能く奉仕する者、最も多く満たさるべきことを吾人は疑わず。」…第5まであります。

【幹事報告】

- ・ロータリーレート 1ドル=106円
- ・12/7 第7回役員理事会 11時半~

◎例会変更のお知らせ

◇所沢東RC

- ・12/22(木) 夜間例会 クリスマス親睦 18時
- ・12/29(木) 休会
- ・1/5(木) 夜間例会 新年会
- ・2/9(木) 移動例会 第3G IM

【委員会報告】

◎ロータリー財団委員会

田辺君

RI財団よりクラブに「2015-16年度財団寄付(ポリオ撲滅)」に対する感謝状を頂きました。

◎ロータリー情報委員会

吉田(武)君

安藤次年度役員選考委員長が欠席のため、例会後、パスト会長よりご意見を賜ります。

◎出席向上委員会

中山君

第3グループ例会場・事務局のご案内を配付。他はお調べになって連絡を取って下さい。FAX用紙もご利用下さい。来月より例会欠席者に「MUのお願い」を送信。無断欠席者へも通知をFAX致します。よろしくお願ひします。

◎ひと言 中里(昌)君
P・ハリスお手植えの月桂樹は子孫3株を木川年度に小田原のRCから頂き、1株を私が頂いて10本近くに増えました。ご希望の方があればお分けします。

【出席報告】無届欠席0 奥富出席向上委員

会員数		当日		前々回修正 出席率
全数	対象	出席数	出席率	
56名	6名	53名	94.64%	91.07%

【M U】

11/17(所沢東) 半田君
(秩父) 和泉君

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

- ・本日はよろしくお願ひ致します。岩堀会長卓話楽しみにしております。(川越)入江成男様、関根秀明様
- ・川越RC岩堀様、入江様、関根様、藤井様ようこそ。本日はよろしくお願ひ致します。細田(伴)君、矢島(巖)君、吉島君、小川君、矢島(高)君、島田君、馬場君
- ・12月3日夜7時より秩父夜祭、TVとYouTubeで生中継します。よろしくお願ひします。和泉君
- ・結婚記念のお祝ひ有難うございました。伊澤君
- ・欠席が続きますすみませんでした。結婚祝ひと妻の誕生日祝ひ頂きました。雨間君
- ・遅刻 服部君
- ・早退 半田君

本日計 26,000 円、累計額 459,002 円。

◎7日例会当番は前島、森会員です。

【卓話】

講師紹介 (川越RC) 藤井 潔様
(一社)日本オオカミ協会副会長・埼玉県支部長。会長は東京農工大学名誉教授の丸山直樹氏。日本生態系保護協会会員。(公社)小江戸川越観光協会前会長。川越初雁会会長。岩堀建設工業(株)会長。1905年、日本のオオカミを絶滅させ、結果、シカ等の食害で山、森、里、川、海、全ての荒廃が急速に進む。当協会は本来あるべき生物多様性、生態系を取り戻すため元々存在していた頂点捕食者オオカミの復活導入運動を展開しています。

オオカミの復活再導入 ～ 生態系を中心に ～

一般社団法人日本オオカミ協会 副会長 岩堀弘明様

私共は生態系、生物多様性保護の観点からオオカミの役割を知り、正しい知識を持って頂くための広報活動を主にやっております。[映像併用]

飯能には兄弟が嫁いでいて、飯能河原で川遊びをしていました。今は飯能河原には地下から湧き上がってくる冷たい水・湧水はありません。名栗川の名郷に行っても無いと言われる。私達の考え方は「山河無くして実り豊かな国の存続は無い」。山では下草、藪を全てシカに食い尽くされてしまった。全てそれが原因ではないが、雨水はすぐ表流水となって川に流れてしまう。埼玉県は西から東に水が流れ、建築屋として飯能でも何か所か地下を掘らせてもらいましたが、西からの水量はかなりあり地下5mでは止水も大変だった。今はかなり少なくなっています。5月末、ウノタワ付近、全く下草は無し。山林崩壊が起きている。

中津川ムジナ沢では毒草が数多くみられる。シカは松の皮も剥ぎ幹の糖分を舐めて冬を過ごす。杉松の根は浅く、ちょっとした豪雨で倒され



る。武甲山、開山式。毒草以外生えていない。林野庁が間伐して陽を入れているが全く下草は無い。飯能の山は全てこれだと言ってもいいのではないかと。

下草があれば水を吸い黒土に水たまりが出来、その下の花崗岩帯に浸透すると鉄分・ミネラルが含まれる水になる。買って飲む水はサン

トリーの山田健氏の著書によると国有林の維持に協力しながら降雨があつて20年の水を汲み上げている。韓国、中国の企業もこれを狙っている。

ダムにも異変。二瀬ダムは100年もつ計算で設計、S36年竣工。計画堆砂容量に対し49年で約91%までヘドロがたまってしまった。放流時にヘドロを巻き込まないように、現在サンドポンプで毎日汲み上げ乾燥させて運び、ダムの機能を保持している。

世界はどうか。韓国、モンゴル、中国、インドにはオオカミがいる。スペイン、イタリアは絶滅していない。ベルン条約を結びEU全体で生物多様性保護を行い、アルプスを越えてオオカミがフランスに入っている。東独との問題があつたドイツにも2000年頃から川を渡ってポーランドからオオカミが進入、現在500～600頭位。藤井氏と視察に行った「黒い森」でも下草が食われていた。抵抗もあつて思うように捗らないところ。

全国5か所でやつた協会主催のフォーラム。オオカミ学者、マーカス・バーテン氏に「埼玉に来てくれ」と頼み、通訳は川越でお世話している留学生に頼みました(10/31山村短大)。NABU(ドイツ自然保護連盟)は会員50万人。日本の生態系保護協会の会員は1万1千人。比較にならない。著名なドイツ企業もオオカミの保存に寄付している。

1905年、奈良・東吉野村で最後のニホンオオカミが捕獲。谷を行き来するので小型化したと言われるが、10年前、DNA鑑定の結果、世界に広がっているハイロオオカミと同種と判明した。

「赤ずきんちゃん」は民話を基に19世紀、ドイツのグリム兄弟が創作。ドイツが熱心に産業振興を行っている時期に作られたもので正しい姿ではない。

『東吉野の民話』の中にオオカミの話が5つ。口伝であり正しいかどうかは分からない。「送り狼」は悪いオオカミではないという話。「狼報恩」には3話。イノシシの牙を取ってやつたところ翌日家の前にイノシシが転がっていた話等。『遠野物語』にも人間を襲った話は無い。狂犬病がオオカミにうつり人を襲った：5件、餌付けしようとして手を噛まれた：3件が報告。ドイツに限って言えばそういう事も無くなっている。狂犬病は駆逐されている。

オオカミは弱い(弱っている)動物を獲る。利口な動物で、人を恐ろしがって姿を見せない。良質な毛皮のため明治初期に乱獲。オオカミの糞から分かる事、96%がノロジカ、2.6%がウサギ、0.6%がヒツジ(家畜)を食べている。オオカミは外来種ではなく2万年位前から日本列島に棲んでいた。

三峯神社では「導入などしなくてもいい。オオカミはいるんだ」「動物としてはいないが神様としてはいる」との事。オオカミ講の信者は相当数。護符を置くと泥棒が入らない等、全国で行われている。

シカは3年前、全国で305万頭。10年後に450万頭になるとの事。そうになったらどんな事が起こるか分かりません。イノシシもサルも同じ状況で増えてくると思います。新聞でもオオカミ保護の立場で取り上げられるようになり、導入について話題が増えてくると思います。是非関心を持って頂ければ有難いなと思つている次第です。